

施設チャームポイント紹介

「森の工房 AMA」 知的障害者授産施設（通所）「森の工房みみずく」 定員 40 名
精神障害者授産施設（通所）「森の工房あやめ」 定員 20 名

社会福祉法人 安芸の郷 理事長 遊川和良

広島市の東部矢野地区の山裾に位置し、戦前に海岸の埋め立てに山を削った後の一部 2 500 m²の敷地に、建設され 03 年 10 月に完成した。建物のすぐ下はかつては美しい海岸線と砂浜があったので、いつも南から吹く風も、赤く映える夕日も瀬戸の海の風景を髣髴とさせてくれる。屋上で育つブルーベリーも海風をいっぱい吸い込んでいる。

森の工房 AMA は、広島市内では初めての知的障害者、精神障害者の皆さんが同じ建物の中で働く場として誕生した。設計を手がけたのは緑の建築家といわれる美建・設計事務所の石井修さん。

森の工房 AMA の特徴は、大小合わせて 1100 本の

樹木を植え、屋上緑化を全面ブルーベリー畑とし、オーソグの大型庇と全面開放型窓を採用することで冷暖房の省エネルギー化を図ったこと。屋上に降る雨水を地下の床に貯水し、ブルーベリーの散水に再利用していくことにある。また、地下 1 階平屋建て、左右 65m の横長の建物は、広い庭とデッキ、全面開放型の折り戸の窓、屋上緑化のブルーベリー果樹園の中で、利用者は一日中労働と休息を快適に過ごすことが保障されている。果樹の生産とジャム加工、パン、クッキーの製造。自動車部品組み立て、布、木の工芸、アルミ缶回収リサイクルなどの作業場が混在した障害者が主人公の施設である。

1. 屋上の四季



1 - 5 月。屋上周圍の 800 本のヒトツツが満開。屋上緑化で、夏の室温は締め切っても 35 度以上は上がらない。冬の保温も優れている。



1 - 7 月。実り始めたブルーベリー。屋上には 128 本が植えられ、摘み取り後は施設の工房でジャムに加工して販売される小さな屋上果樹園。



1 - 秋には真っ赤に紅葉するブルーベリー



1 - 雪に包まれて真っ白のブルーベリー

2. 再生可能な循環システム



2 - 屋上には4cmの砂利、26cmの土が積まれ、画面左から右に緩やかな傾斜があり、土に浸透した雨水は、屋上の溝をへて雨どいを伝って地下室の床下に40t貯水される。土は、工事の残土を再利用し、残土の廃棄も抑制した。



2 - 虹色に塗られた10本の雨水利用のための雨樋。1階の壁はモック板の上にスリートを張ってロコトを実現している。



2 - 地下通路に設置された雨水槽。左右の桝が雨水の入り口。中央の桝が取水口、ポンプアップで屋上のブルーベリーの水遣りに使用。夏は朝夕毎日。

3. みんなが集まれる場として機能する森の工房 AMA



3 - ブルーベリーが実る7月下旬に行われるブルーベリー祭り。多くの地域の人たちが摘み取り体験を楽しむ場となる。



3 - 広いデッキはステージに利用。04年9月に市内の障害者施設、作業所が集まって行われた「あきららんフェスタ」で踊る沖縄のエイサー。



3 - 毎年12月に行われるクリスマスコンサート。参加者もプレイヤーも地域の人たちで、施設の関係者と一緒に楽しむ。施設でつくる焼きたてのパンや、焼き菓子とホットな飲み物も楽しみ。



3 - クリスマスコンサートでは、庭の遊歩道にキャンドルを飾って、昼間の作業する施設から変身して、参加者を迎える。

4. 森の工房 AMA のうち、そとの風景



4 - テック、芝生の上で気持ちよく朝の体操。森の再生を意図して、敷地内、屋上に大小合わせて 1100 本の樹木が植えられている。建物の色調は、緑を基調に茶、コンクリートの灰色に押さえられている。



4 - 春には緑と花に包まれた景色に変わる。遊歩道は周囲 85mあり、昼休みにはウォーキングもできる。庭に面した部屋はすべて折り戸式のガラス戸で、ドアもあり、どこからでも出入り自由で、移動のバリアフリーとなっている。



4 - トイレ。木が多く使用されているが、中でもトイレは杉の積層パネと珪藻土の仕上げで、利用者、見学者にも評判が高い。



4 - 地下の会議室。多目的に利用され、映画や卓球室にも使用される。床下は貯水槽で屋上の雨水が 40 t 貯水されている。



4 - 食堂。正面いかに向こうは、トイレ、更衣室、シャワー室。左は厨房。天井、壁は珪藻土仕上げ。天井のライトの一部は7月の星座が組み込まれて視覚的な楽しさを演出してくれる。床はコンクリートの上に上げ床で木のパネを敷き、転倒時や歩く時の膝への負担を和らげてくれる。



4 - 芝棟。秋には彼岸花が咲く。珪藻土の屋根根はナスタが伸び緑に覆われる。



4 - 虹。衝突防止のサインはプリズムとなっており朝日で地下の階段の壁に虹が映し出される。

5. 森の工房 AMA で働く風景



5 - オープンした04年10月に、屋上にブルーベリーをみんなで植え付けた。大崎島の「ふれあい農園」からも応援に来て頂き指導を受けた。その後、乾燥と雑草防止、土作りを目的に加パ-の種をまいた。残土からは、月見草、野芝、加ヨモギなどが生えてきた。



5 - クッキー・ジャム工房。食品加工の工房ではクッキー、ジャムの製造が中心。摘み取ったブルーベリーは、鍋で少量をゆっくり、丁寧に煮込む。



5 - パン工房。広島市でここだけ、作られていない天然酵母使用のパン。18~20時間かけ熟成して焼く。森の工房 AMA はすべて自然志向。



5 - パッキング作業。畳の上で新聞紙を丸め、ビニール袋に入れて、輸送用のクッション材料を製造する。春と秋は折り戸をオープンにして開放的な作業場となる。



5 - たわわに実る森の工房 AMA のブルーベリー。将来的には約1トンの収穫を見込んでいる。



5 - 授産製品。ブルーベリージャムとパン。どちらもおいしいと評判。

設計監理	: 美建・設計事務所 石井 修
施工	: 正田建設
緑化工事設計	: 美建・設計事務所
協力	: 橋本洋治 (屋上緑化コンサルタント、計画立案及びプロデュース)
緑化工事施工	: 山中三方園、屋上ブルーベリーの植栽は建築主
敷地面積	: 2 5 0 0 m ²
建築面積	: 7 6 0 m ²
延べ床面積	: 9 9 4 m ²
構造	: 鉄骨および鉄筋コンクリート造、地下一階地上一階建て
緑化の場所	: 屋上全面 7 3 0 m ²
緑化管理	: 森の工房 AMA の職員、利用者による維持管理
所在地	: 広島市安芸区矢野東 2 -4-24